

機関紙 News Release

ニュース リリース

発行日 2017-6-30

第 18 号

発行者 大仙市手をつなぐ育成会

発行責任者 会長 柴田 貞二

Tel. 0187-65-2525

事務局 〒014-0802

大仙市払田字念仏谷地27-1

新田亮子 Tel 0187-69-3108

平成29年度大仙市手をつなぐ育成会総会

大仙市健康福祉部長 逸見博幸氏

平成29年度大仙市手をつなぐ育成会総会

大仙市社会福祉協議会会長 伊藤 稔氏

平成29年度大仙市手をつなぐ育成会総会

平成29年度

大仙市手をつなぐ育成会総会

議 案 書

と き 平成29年4月13日 (木)

午前10時から

ところ 大曲広域交流センター

総 会 次 第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 来賓あいさつ
4. 議 事
 - 1) 平成28年度事業報告および収支決算の承認について
会計監査報告
 - 2) 平成29年度事業計画(案)および収支予算(案)について
 - 3) 役員の改選について
5. その他
6. 閉 会

【研修会】

テーマ 「再発防止策の提言」

講 師 大仙市手をつなぐ育成会

会 長 柴 田 貞二

平成29年度大仙市手をつなぐ育成会総会が左記の日程で開催されました。来賓として大仙市健康福祉部長の逸見博幸氏と大仙市社会福祉協議会会長の伊藤 稔氏の出席を得て会員皆様に励ましのお言葉を頂き感謝申し上げます。

大仙市各地区から39名の会員と委任状による出席者が17名、合計56名の出席者を得て開催されました。飛澤事務局の進行のもとに議事が進められ、各議案ともご承認を得たことに感謝申し上げます。毎年度総会終了後に行われている研修会

今回は昨年の7月に起きました「相模原障害者施設殺傷事件」に関する事件の検証及び再発防止策検討チームによる中間報告が昨年の12月に国から公表されました。会長の柴田が要点をパワーポイントにまとめ出席された皆様にお伝えしました。

議案 第1号 平成28年度はどんな事業をしたのかなあ!

2



平成28年4月14日(木)大曲広域交流センターにて総会を開催しました。会員の出席者は委任状を含めて52名でした。



平成28年6月9日(木)視察研修「福祉エリア ありす刈和野」を見学しました。参加者は20名でした。



平成28年8月30日(日)由利本荘市「文化交流館カダーレ」にて第58回手をつなぐ育成会秋田県大会が開催されました。大仙市手をつなぐ育成会からの参加者は15名(内、本人4名)でした。



平成28年度の交流・親睦大会は平成28年10月20日(木)奥羽山荘にて開催しました。参加者は22名でした。

その他主な行事への参加

月日	事業名	参加者
5・7・9・2・3月	役員会	5回各役員参加
6月2日	県育成会総会	会 長
6月・11月	機関紙発行	16号、17号
12月6日	合同研修会	会 長
1月	第1回実行委員会	5名参加
2月	県南地区協議会	会 長
3月	監 査	役員他12名
3月	第2回実行委員会	5名参加



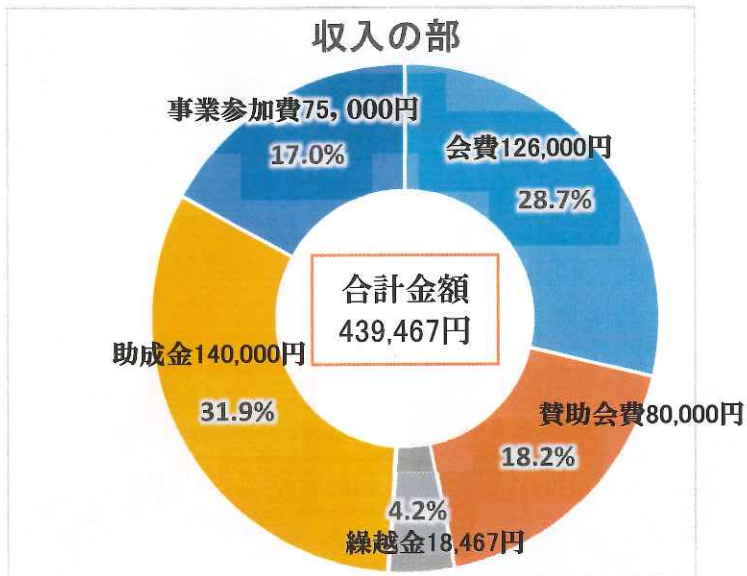
本人活動支援事業、平成28年度も認可になり平成28年11月12日(日)仙北ファミリーボウルにて開催しました。全体で37名の参加者でした。

平成28年度の収支決算額はいくらかなあ!

3

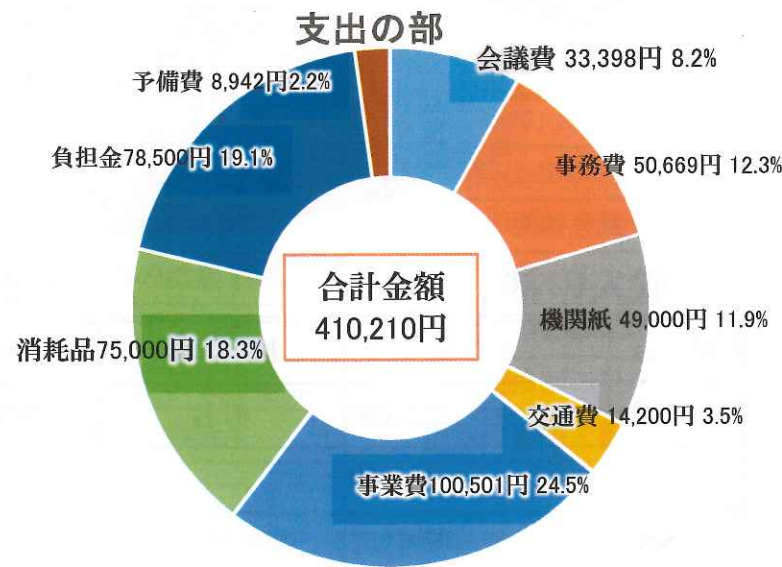
・収入の部

項 目	決 算 額	摘 要
会 費	126,000	63名
賛助会員	80,000	19名 (内1社)
繰越金	18,467	前年度より
助成金	140,000	大仙市、社協
事業参加費	75,000	各事業参加者
雑収入	0	利子
合 計	439,467	



・支出の部

項 目	決 算 額	摘 要
会議費	33,398	理事会・総会
事務費	50,669	消耗品・通信費
印刷製本	49,000	印刷代
交通費	14,200	県総会他
事業費	100,501	研修・交流会他
消耗品費	75,000	昼食代
負担金	78,500	県育成会・社協
予備費	8,942	弔電他
雑費	0	
合 計	410,210	



収入総額	439,467円
支出総額	410,210円
差引金額	29,257円
29年度繰越金	29,257円

平成28年度会計監査報告

平成29年3月16日、会長、会計係立会いの上に、平成28年度会計決算について会計帳簿、貯金通帳、現金の監査をしたところ正確かつ適正に処理されていたことを確認しましたので報告いたします。

平成28年3月16日

監 事 高 橋 哲 美
監 事 進 藤 功

上記議案、議案第1号として承認されました。

平成29年度はどんな事業をするんでしょう!

議案 第2号



・収入の部

項 目	予算額	摘 要
会 費	122,000	61名
賛助会員	64,000	
繰越金	29,257	28年度繰越
助成金	140,000	大仙市、社協
寄付金	52,100	
事業参加費	75,000	会員参加費
雑収入	643	利子他
合 計	483,000	

・支出の部

項 目	予算額	摘 要
会議費	35,000	総会・役員会等
事務費	50,000	郵送、コピー等
印刷製本	50,000	印刷インク代
交通費	12,000	
事業費	170,000	広告費用増額
負担金	78,500	県育成会・社協賛助
消耗品費	75,000	
予備費	11,000	慶弔費等
雑 費	1,500	
合 計	483,000	

地区別会員数

大曲地区	21名	神岡地区	3名	南外地区	1名	賛助会員
中仙地区	16名	太田地区	5名			県外 2名 県内 17名
西仙北地区	7名	仙北地区	8名	合 計	61名	合計19名

上記議案、議案第2号として承認されました。

研 修 会

演 題 報告書「再発防止策の提言」

講 師 大仙市手をつなぐ育成会

会 長 柴 田 貞 二



今回の研修題材は平成28年7月に起きました「相模原障害者施設殺傷事件」に関する事件の検証及び再発防止策検討チームによる中間報告が昨年の12月に厚生労働省から、中間報告書として公表されました。県南育成会協議会(平成29年2月)湯沢市開催の題材として、公表された資料(A4版にて21ページの内容)から要点だけ拾い上げパワーポイント30コマにまとめました。その内容から簡潔に記載します。

事件発生までの時系列	平成24年12月1日	容疑者が職場に勤務開始	採用時の検証は
	平成28年2月15日	衆議院議長宛に手紙渡す(施設を襲撃する内容)	3年3ヶ月間勤務検証は
	平成28年2月19日	園長と面談、退職届渡す(殺害の予告)警察官保護	警察署同行、市が措置入院決定
	同 日	指定医の診断 尿から大麻成分陽性が判明	指定医は大麻陽性が異常発言と診断か
	平成28年2月22日	診断に基づき市が措置入院を決定する。	指定医の判断大
	平成28年2月29日	尿から大麻成分検出なし、隔離室での隔離解除	指定医は措置症状消滅と判断
	平成28年3月2日	市が措置入院解除、主治医が退院決定、退院する	「家族と同居」実際は元の住まい
	同 日	施設職員が施設の近くで容疑者を目撃、退院を知る	市、病院は退院の知らせせず
	平成28年3月4日	施設職員が警察署に退院した旨知らせる	行政間の問題意識共有なし
	平成28年3月24日	外来受診する。生活保護等の相談来所	この時点で社会交流は
	平成28年3月31日	外来受診最後になる。主治医が退職	各、行政機関には情報なし
	平成28年4月23日	施設に防犯カメラ16台設置・抑止力になるか	24時間体制の見張りか
	平成28年6月28日	外来受診日引き伸ばし日、受診せず	各行政機関との共有は
	平成28年7月14日	八王子市内、両親宅で食事する	事件から12日前・・
	平成28年7月26日	事件発生・・死亡者19名、重軽傷者47名	衝撃、全世界に広がる

に再発防止策の視点	共生社会の推進	差別意識のない社会と障害者の地域での共生	共生社会の考え方福祉計画に反映
	退院後の医療等の継続的な支援・孤立の防止	措置入院の解除後、通院を中断した。退院後の医療等の支援強化	措置入院者退院後の対応は、帰住先の各行政機関は支援計画を引き継ぐ
	社会福祉施設等における職場環境の整備	容疑者は共生社会を推進する考え方を脅かす恐ろしい事態である。障害者と交流しながら、やりがいや誇りを持つサービスに充実できる環境づくりが重要	職員の人権意識を高める教育、研修を行う

再発防止の提言	措置入院中の診察内容の充実	専門知識を有する医師の育成・・医学教育の充実	措置入院者の診察等を行う医師の質を高める
	関係機関等の協力の推進	措置診察等の判断に係るチェックポイントの作成 都道府県等における協議の場の設置等	厚生労働省において、指定医の見直しを行う 都道府県・市町村・医療機関・関係者等の相互理解推進

要検証事項	・施設は容疑者をどのような経緯と判断で採用されたか・施設は容疑者に対して、どのような研修や指導を行ってきたか。指導内容は適切であったか・問題行動に対して、どのように対処したか、同僚や上司との関係は・職場内外で何を見聞き、どう解釈して凶行におよんだか
-------	--

視察研修会開催



平成29年度、視察研修会を6月8日(木)に企画しました。例年であれば各施設への研修が相場になっています。今回は日帰りのコースに付き、行く場所が限定されます。仙北地区に照準を合わせたが、お互いの都合により実現できませんでした。役員会に於いて「心の健康に向けて・・」をテーマに検討した結果、横手市増田地区への視察研修に決まりました。「蔵の街と清真苑」へ、大仙市福祉バスを使用しての研修になります。

今回の研修への参加者メンバーになります。「蔵の街」として近年、脚光を浴びております。有名な女優さんが撮れている場所にて、参加者20名の記念写真になります。「清真苑」とは増田の商人地主、旧佐藤清十郎家別邸として昭和初期に建立された。現在は増田町に譲渡され、町民の憩いの広場として親しまれている。歩く脚も軽く、「清真苑」を一周しました。参加者全員にこやかでした。



第59回手をつなぐ育成会秋田県大会

第59回手をつなぐ育成会秋田県大会(大仙・仙北・美郷大会)、第49回が大仙市で開催され、10年ぶりに平成29年9月17日(日)に仙北ふれあい文化センターにて開催されます。6月23日(金)第4回実行委員会が開催され、運営主体の協力を得て着々と準備が進められています。開催される内容を開催要綱に従って記載します。大会当日には正会員、賛助会員、この会に感銘を受けられる一般人の方々、多くの来場をお待ち申し上げます。

- ◎ 大会スローガン 「互いに人格と個性を尊重できる、豊かな共生社会をめざそう」
- ◎ 主 催 公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会 (運営主体) 大仙市・仙北市・美郷町手をつなぐ育成会
かわ舟の里角間川家族会・後三年鴻声里保護者会・愛仙にじ保護者会・ふれあいの郷「まつくら」「しみず」保護者会
- ◎ 期 日 平成29年9月17日(日) 午前10時～午後3時30分
- ◎ 会 場 仙北ふれあい文化センター (TEL 0187-69-3333)
- ◎ 日 程 受付9:00～9:55 開会式典 10:00～10:50
- ◎ アトラクション 11:00～12:00 ・支援学校の生徒による活動披露・なでしこ大仙「スコップ三味線演奏」
- ◎ 講 演 12:50～13:30 仮題「障がい者の権利擁護について」
- ◎ シンポジウム 13:30～15:30 テーマ「温かい地域の交流から輝く共生社会をめざそう・・・」
- ◎ 本人大会(秋田県ともだちの会) 13:00～15:00 仮題「音楽で楽しもう・・・」社会見学等
- ◎ 参加費 大仙市正会員・賛助会員(各3,000円)補助あり 本人 1,000円(弁当代)
- ◎ 参加申込み 大仙市育成会関係者取りまとめ・・・平成29年7月31日(月)まで大会事務局まで報告

6

歓 迎

第59回手をつなぐ育成会秋田県大会

(大仙・仙北・美郷大会)

皆様のご協力に心から感謝申し上げます



りねん「利用者の一番のプロは私達

未来を作る出会いに夢を持つ」

会 長	柴田 貞二	大 曲	理 事	高橋 恭子	太 田
副会長	高橋 正吉	大 曲	理 事	竹村 牧子	仙 北
副会長	西鳥羽友子	仙 北	監 事	進 藤 功	大 曲
理 事	井上 泰男	西仙北	監 事	高橋 哲美	太 田
理 事	佐々木文雄	西仙北	事務局	飛澤ヒロ子	大 曲
理 事	伊藤 ツサ	南 外	事務局	新田 亮子	仙 北
理 事	田口 歌子	中 仙	事務局	茂木 清子	仙 北
理 事	茂木志保美	中 仙			

会 員 一 同

大仙市手をつなぐ育成会

地元開催になります第59回手をつなぐ育成会秋田県大会(大仙・仙北・美郷大会)での大会冊子に載せる広告、今回はA4版一面を使いました。予算の心配をよそに、近年続いております茂木建設(株)協力会社で構成される「モチギ明和会」より、年末に温かい支援が届けられます。働く一人ひとりが貴重なお金をカンパした結果であると聞いております。感謝の言葉しかありません。その支援が広告一面に繋がりました。心より感謝申し上げます

7

大仙市手をつなぐ育成会

入会のご案内

大仙市提供



障がい（児）者をもつ保護者として、悩みや要望を語り合ったり

福祉の増進のために活動する仲間になりませんか！

りねん 「利用者の一番のプロは私達 未来を作る出会いに夢を持つ」

◎ 会員 大仙市に住む障がい（児）者の保護者 ◎ 賛助会員 この主旨に賛同する方 地域問わず

◎ 年会費 会員 2,000円 賛助会員 2,000円以上

◎ 入会申込先 会長 柴田貞二 TEL0187-65-2525 ◎ 事務局 新田亮子 TEL0187-69-3108

※ 入会の申込者には入会申込書、振込み用紙を送ります。

賛助会員名

加藤麻里 様	鎌田英寿 様	福岡恵子 様
武田雄平 様	茂木建設(株) 様	斎藤信志 様
渡部英治 様	泉 繁 夫 様	高橋輝明 様
佐藤芳郎 様	檜尾 茂 様	中野昭満 様
出竹 潔 様	鈴木 明 様	千馬洋子 様
古谷武美 様	村上哲朗 様	佐藤育男 様
		高橋悦子 様

大仙市知的障がい者相談員

飛澤ヒロ子 (小貫高畑)	0187-62-3715	藤原正人 (協和船岡)	018-893-2139
進 藤 功 (六郷西根)	0187-65-2622	新 田 亮 子 (払田)	0187-69-3108
工 藤 正 悦 (北櫛岡)	0187-72-3333	高 橋 哲 美 (太田)	0187-89-1139
佐々木 文雄 (大沢郷)	0187-78-1656	高橋 司郎 (長野)	0187-56-3735

左記の方々が平成28年度から29年度に掛けての大仙市手をつなぐ育成会(以下、育成会という)賛助会員の皆様です。皆様のご支援によって育成会が正常な形で運営されている事に感謝申し上げます。平成29年度も引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

遠くは青森県、東京都、美郷町、横手市、秋田市、大瀧村、大仙市と地域を問わずご支援を頂いている事にも感謝申し上げます。

育成会では年2回の機関紙発行にて皆様に情報をお届けするのが唯一、温情に報いる方法だと思っています。愛読のほどお願い申し上げます。

※在宅支援や障がいのある方の身近な相談役として活動しています。秘密は厳守しますので、普段の生活のことや障がいのことなどをご相談ください。なお、それぞれの相談員に関することは社会福祉課に問い合わせ下さい。

大仙市社会福祉課 TEL0187-63-1111 (内線162番)

※ 公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会・H・Pアドレス <http://www.akita-ikuseikai.jp/>

編集後記

平成29年度に入りました。大仙市手をつなぐ育成会での事業も総会を終えて研修会へと進みました。

今年の最大事業になるであろう第59回手をつなぐ育成会秋田県大会開催に関する実行委員として5名が携わっています。

これからが準備の為の本作業に移ります。広告の勧誘、参加者の把握等、難題が控えています。

落胆せず前を向いて挑戦しましょう。今回の機関紙の内容は特別な事は記載がない。筆者も後期高齢者の仲間入りになりました。「認知症の恐れ有り」の診断を受ければ、早くバトンタッチが必要です。大会終了と共に会員皆様にご相談する必要がありますと考えております。 Teiji shibata